

平成 22 年 12 月 21 日

### 電通、『小学生のメディア接触調査 2010』を実施

～高学年では「新聞を読む」40%、「テレビを見る」100%、「マイ携帯電話」32%～

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：高嶋達佳）と株式会社電通リサーチ（本社：東京都中央区、社長：小林健一）は、両社で開発した小学生調査パネル「子どもの本音ネット」を利用し、『小学生のメディア接触調査2010』を実施しました。

同調査は、電通社内プロジェクト、ジセダイ育成委員会が行ったもので、小学生の平日・休日のメディア接触を中心とした生活行動について、小学生本人とその母親が回答しています。マスメディアの他、ゲーム、パソコン、携帯電話、携帯音楽プレーヤーなどもメディアととらえ、接触状況を明らかにしていることが特徴です。

同調査では、パソコン、ゲーム機器など、生まれたときからデジタルデバイスに囲まれている今どきの子どもたちが、テレビ、新聞、雑誌などのマスメディアにも積極的に接触し、幅広いメディアライフを送っている実態が明らかになりました。

主な調査結果は以下のとおりです。

小学生の学年区分は低学年＝小学 1～2 年生、中学年＝小学 3～4 年生、高学年＝小学 5～6 年生として表記しています。

#### 【主な調査結果】

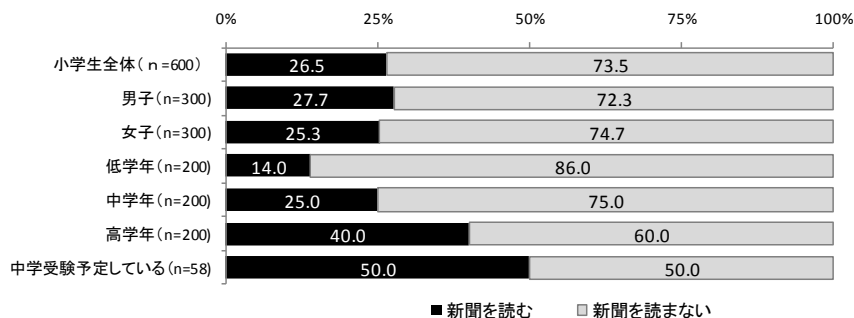
1. 高学年では「新聞を読む」が40.0%。中学受験予定者では5割に。
2. 「テレビを見る」高学年では100%。平日のテレビ視聴コアタイムは午後7～8時台。
3. 「雑誌を読む」が63.7%。中学年以上で上昇。
4. 過半数が「自分専用の携帯型ゲーム機」を保有。高学年では70.0%。  
平日ゲームプレイ時間帯は午後5～6時台、一日の平均ゲーム時間は平日24分、休日47分。
5. 携帯電話の自分専用保有率15.7%、高学年では32.0%。  
携帯音楽プレーヤーの自分専用保有率9.2%、高学年では20.5%。  
どちらも高学年女子が際立って高い。
6. 起床は午前6時台、就寝は午後9～10時台。イマドキ小学生は意外と規則正しい生活。  
1時間きざみのタイムライン調査結果より。

【調査結果の詳細】

1. 小学校高学年では「新聞を読む」が40.0%。中学受験予定者では5割に。

- ・小学生全体の「新聞を読む」は26.5%。高学年になると上昇し、40%に。さらに、中学受験予定者では50%が「新聞を読む」。

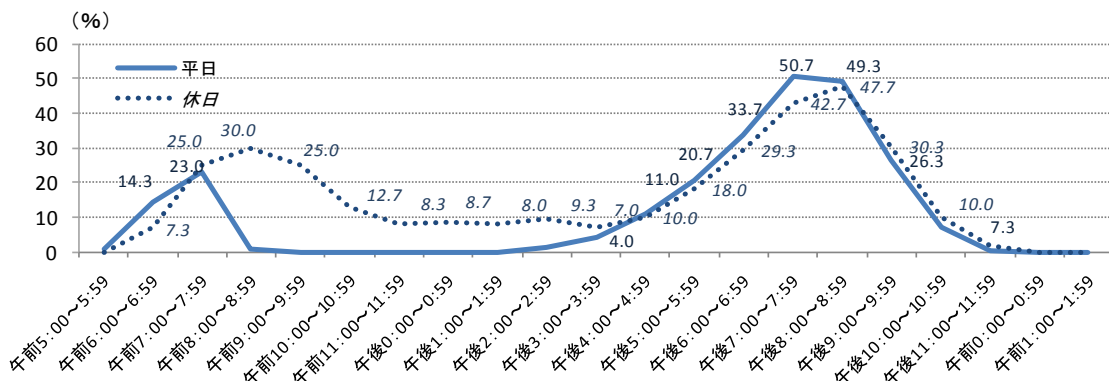
図1 「新聞を読んでいる」割合



2. 「テレビを見る」高学年では100%。平日のテレビ視聴コアタイムは午後7～8時台。

- ・「テレビを見る」は全体で99.7%、高学年では100%。ほとんどの小学生が日常的にテレビを見ている。
- ・平日のTV接触時間帯は、午前7時台 (23.0%)、午後6時台 (33.7%)、午後7時台 (50.7%)、午後8時台 (49.3%) が中心。午後7～8時台は約半数がテレビを見ている。
- ・休日は、平日よりもTV視聴時間帯が長くなり、視聴時間帯の中心も午前7時～9時台、午後6～9時台まで広がる。

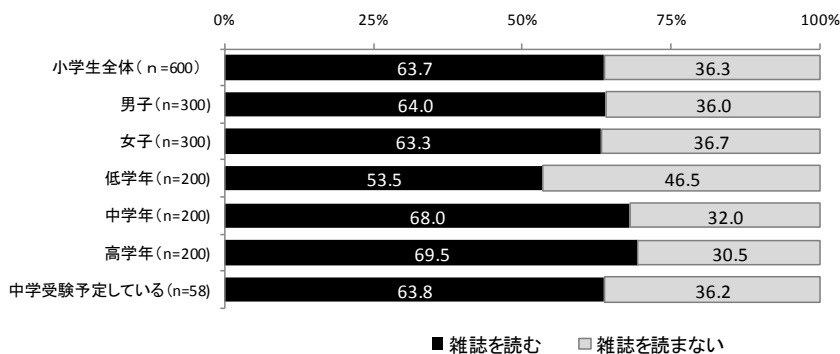
図2 「テレビを見ている」小学生の割合 (小学生全体、平日、休日)



3. 「雑誌を読む」が63.7%。中学年以上で上昇。

- ・「雑誌を読む」は63.7%。中学年で68.0%、高学年では69.5%に。
- ・「両親に買ってもらって読む」が46.5%と最も多いが、中学年以上では「お小遣いで買って読む」(中学年27.0%、高学年35.0%)が増える。

図3 「雑誌を読んでいる」割合



4. 過半数が「自分専用の携帯型ゲーム機」を保有。高学年では70.0%。

- 平日ゲームプレイ時間帯は午後5～6時台、一日の平均ゲーム時間は平日24分、休日47分。
- 小学生の携帯型ゲーム機の使用率は79.5%。男子は83.0%で、女子を上回る。中学年以上で使用率が急に高くなり、特に高学年男子の使用率は94%。
- 携帯型ゲーム機自分専用保有率は53.3%と過半数、高学年男子では74.0%が「マイ携帯型ゲーム機」を保有。
- 平日、ゲームをするのは午後5～6時台。男子の4人に一人がこの時間帯にゲームをしている。休日はただらと一日中、ゲームをする。一日の平均ゲーム時間は平日24分、休日47分。

図4 携帯型ゲーム機の保有状況

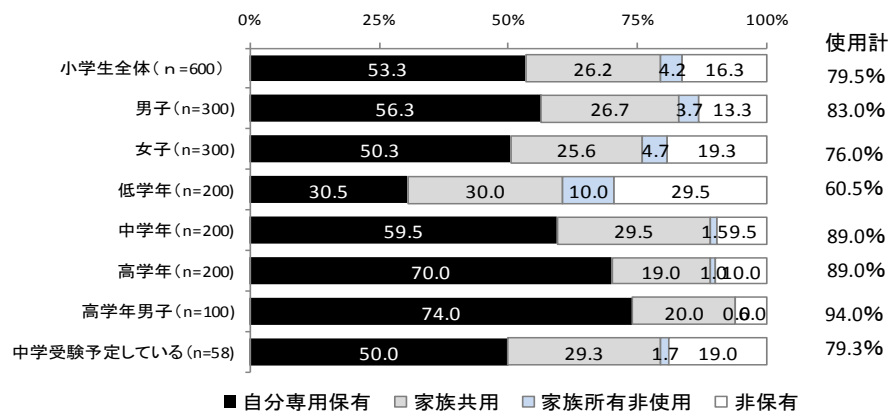
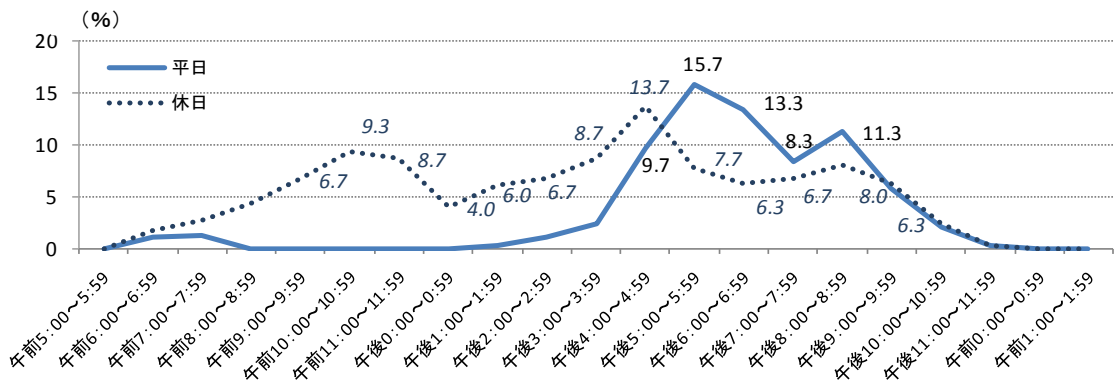


図5. 自宅でゲームをしている小学生の割合



5. 携帯電話の自分専用保有率15.7%、高学年では32.0%。携帯音楽プレーヤーの自分専用保有率9.2%、高学年では20.5%。どちらも高学年女子が際立って高い。

- ・小学生の携帯電話使用率は23.2%、携帯音楽プレーヤーの使用率は19.2%。高学年女子が際立って高く、携帯電話の使用率45.0%、自分専用保有率42.0%、携帯音楽プレーヤーも使用率39.0%、自分専用保有率29.0%。高学年女子が携帯電話を最もよく使っている時間帯は午後9時台の寝る前。

図6 携帯電話の保有状況

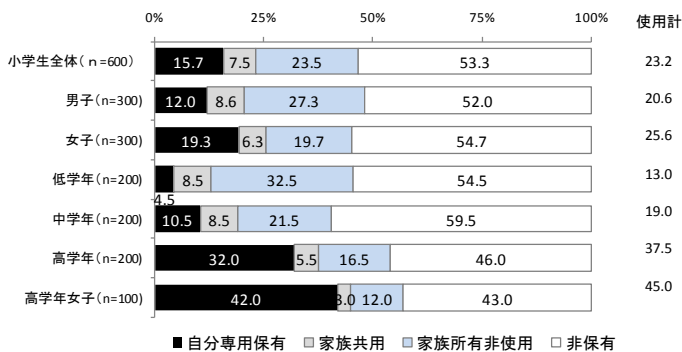
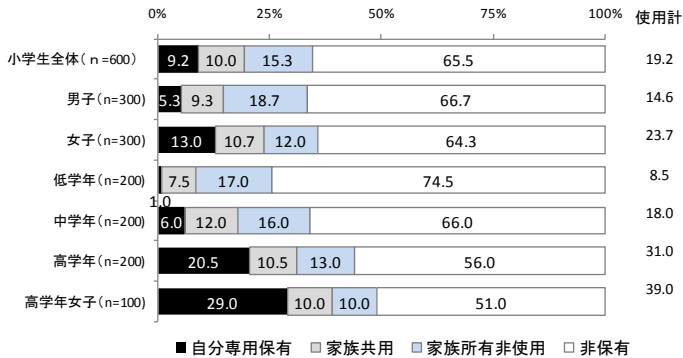


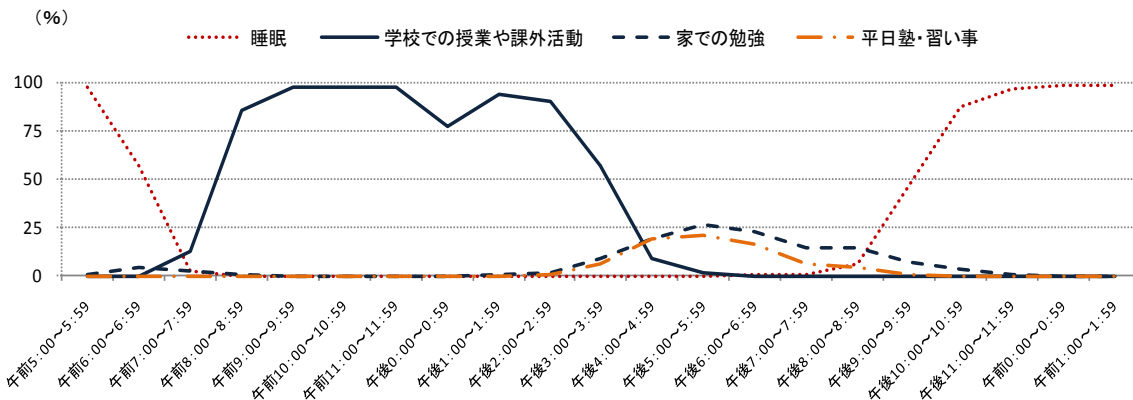
図7 携帯音楽プレーヤーの保有状況



6. 起床は午前6時台、就寝は午後9～10時台。イマドキ小学生は規則正しい生活。1時間刻みのタイムライン調査結果より。

- ・平日は午前7時までに97.3%が起床、午前7時台に約7割が登校。下校のピークは午後3時台。平日夕方は、家での勉強、テレビ、ゲーム、学童・児童館、外での遊び、習い事などをして過ごし、午後9～10時台に就寝。意外と規則正しく健全な行動パターン。
- ・休日は、午前7時台で3割、午前8時台でも1割強がまだ眠っており、平日に比べ朝寝坊。就寝時間も遅くなり、午後10時台でも約2割が起きており、夜更かしの傾向がみられる。特に、高学年女子でその傾向が顕著。
- ・睡眠時間の平均は平日8時間39分、休日9時間20分。自宅での学習時間の平均は平日、休日ともに約41分。

図8 平日の小学生の行動（タイムライン調査より）



## ◆本調査の5つの特徴

- ① 小学生の平日と休日の24時間を1時間ごとに把握（タイムライン調査）
- ② 母親のサポートを受け、小学生本人が回答
- ③ 家でのお手伝い、塾、課外授業、学童・児童館など小学生特有の行動項目やパソコン、携帯電話、携帯ゲーム機など新しいメディアツールへの接触状況を把握
- ④ 1学年ごとの行動変化・メディア接触状況の比較が可能
- ⑤ 中学受験予定者の行動も把握

## ◆「小学生の24時間タイムライン調査2010」 調査概要

- 調査対象： 小学1年～6年までの子どもとその子どもの生活時間を把握している保護者（母親）  
週末調査300組 平日調査300組 計600組、小学校各学年男女各50名
- 調査エリア： 関東1都6県
- 対象者の抽出： 「子どもの本音ネット」より対象者を抽出
- 主な調査項目：
- <タイムライン調査> 自宅内：睡眠、身の回りの用事、食事、入浴、勉強、遊び、お手伝い、ゲーム、テレビ、DVD、新聞、雑誌やマンガ、ラジオ、パソコン、携帯電話、読書
  - 自宅外：登下校、授業やクラブ、学童・児童館、学習塾、習い事、食事、遊び、スポーツ・運動、買い物、おでかけ、徒歩・自転車、自動車、バス・電車、ゲーム、テレビ、DVD、新聞、雑誌やマンガ、ラジオ、携帯電話、読書
  - <メディア接触> テレビ、新聞、雑誌、ラジオ、ゲーム機、パソコン、携帯電話、携帯音楽プレーヤーなど
- 調査方法： インターネット調査
- 調査実施時期： 平日調査 2010年9月8～10日（前日について質問）  
週末調査 2010年9月5～6日（前日について質問）
- 調査実施機関： (株)電通、(株)電通リサーチ

## ◆「子どもの本音ネット」とは

電通および電通リサーチが開発した小学生インターネット調査パネル。  
小学生本人が保護者のサポートを受けながら回答する。  
パネルには全国の小学校1～6年生男女約1万人が登録。



<このリリースに関するお問い合わせ>

(株)電通 プロジェクト・プロデュース局 プロジェクト開発部  
平井、森口、花島 Tel：03-6216-8058

